



# 東広会ニュース

10月号

2005年(平成17年)

Vol.16

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-1-1  
ヒューマックス恵比寿ビル8F

東日本鉄道東京広告会

電話 03(5773)6788

E-MAIL info@tokokai.jp

## 「全国鉄道広告振興協会」設立総会開催される

### 会長に岩崎氏、会長代行副会長に小島東広会会長を選出

平成17年10月6日(木)「全国鉄道広告振興協会」設立総会が開催された。この振興協会は、鉄道広告の様々な課題への取組みと価値向上を図るため、全国組織として創設された。業界全般の近代化と効率化を促進し、公益の増進を図るため社団法人としての申請を国土交通省に行う予定である。

「全国鉄道広告振興協会」の設立総会は、10月6日(木)15時30分から飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで開催された。

総会には、参加もしくは参加の意向を示している(含む折衝中)正会員・特別会員・賛助会員315社のうち、代表者出席114社、代理人出席34社、委任状113社の計261社の参加があった。



全国鉄道広告振興協会設立総会

最初に、議長に岩崎雄一氏(社)日本

ショッピングセンター協会会長)を選出し、「社団法人全国鉄道広告振興協会設立趣意書の件」「社団法人全国鉄道広告振興協会定款の件」「平成17年度及び18年度事業計画並びに収支予算の件」「機構図の件」等の議案を審議し承認された。

役員については、学識経験者を含む44名の理事が選出され、理事の互



懇親会席上で挨拶する振興協会役員

選により、会長に岩崎雄一氏、会長代行副会長に小島紀久雄氏(東広会会長・株)JR東日本企画社長)、副会長に本田勇一郎氏(株)JR西日本コミュニケーションズ社長)、瀧久雄氏(株)NKB社長)、佐藤裕紀氏(株)メディアート社長)、望月國雄氏(株)春光社会長)が決定した。専務理事には小林末光氏(東広会専務理事)。常任理事には牛込昭洋氏(株)メトロコマース社長)、西村友伸氏(株)東急エージェンシー執行役員)、永井秀雄氏(株)オリコム会長)、間宮泰三氏(協立広告(株)会長)、小牧涉氏(株)電通OOH局長)、栗原圭一氏(株)ムサシノ広告社社長)、下杉克郎氏(株)小田急エージェンシー社長)、清水英明氏(株)近宣社長)、福田栄次氏(株)大阪オリコミ社長)、市口鶴市氏(中央広告(株)会長)、今村元氏(株)JR東海エージェンシー社長)、山田則夫氏(株)名鉄エージェンシー社長)、上永吉耕志氏(株)JR九州エージェンシー社長)、千葉律雄氏(株)北海道JRエージェンシー社長)が選出された。

今後のスケジュールとして、10月20日(木)目途に国土交通省に設立許可申請を行う予定、設立許可後、第1回総会を開催したい、としている。

尚、鉄道広告全国連盟は10月6日(木)第57回通常総会を開催し、解散を決議し、56年の歴史を閉じた。

# 「2005年度上半期の売上」まとまる

2005年度上半期の売上実績がまとまった。交通媒体局の売上高は214億4700万円、前年比104.1%となった。車両メディアの売上は128億5000万円、対前年+65.9% (105.4%)、駅メディアは85億1500万円、対前年+26.1% (103.2%)といずれも前年を上回った。

## ■車両メディアの概況

「車体広告」「ADトレイン」は、クライアントニーズに対応し、実施編成車両数を増加させ、好調であった。車体広告ではマイクロソフト、東京電力等フリーデザインを採用する展開が増加した。また、山手線だけでなく中央快速、総武緩行、京浜東北、埼京、常磐快速等幅広い線区での展開

が行われた。また、岡山県や香川県といった地方自治体の出稿、本田技研、ダイムラークライスラー日本など自動車関連の出稿もあり、クライアントの幅がさらに広がった。

京浜東北線デジタルモニター「WV IT」においては7月から日本テレコムの実証実験、9月からは一般クライアントへの販売がはじまり、下期に

## ■2005年度上期売上

(単位:百万円)

媒体	2004年度上期	2005年度上期	前年比	増減	
車両メディア	車内ポスター	11,021	10,973	99.6%	-49
	ADトレイン等	418	622	148.9%	204
	車体広告	420	728	173.4%	308
	トレインチャンネル	287	482	168.3%	196
計	12,146	12,805	105.4%	659	
駅メディア	駅ポスター	2,399	2,448	102.0%	49
	SPメディア	1,209	1,243	102.8%	34
	サインボード	4,592	4,504	98.1%	-88
	フリーペーパーラックラッピング店舗	53	319	600.4%	266
	計	8,254	8,515	103.2%	261
その他(オレンジカード・調査他)	209	127	60.9%	-82	
合計	20,608	21,447	104.1%	839	

※本社扱い分

は幅広い展開が期待される。

「トレインチャンネル」は、4月より山手線全編成に導入され販売は堅調に推移した。10月からは、大規模なシステム改修が行われ、より幅広い広告ニーズに対応可能となっている。「3線群中づり」「3線群まど上」に関しては、たばこ広告の出稿がなくなったこと、出版の出稿減等により減収となった。

「東海道/宇都宮・高崎/常磐線」は、湘南新宿ラインの増発、新型車両投入に伴う商品改訂などで需要増となった。「ドア横新B」「ステッカー」も好調であった。

## ■駅メディアの概況

「駅ポスター」は、一般枠が低調であったものの、今年度より商品構成を見直した各種セットが好調で、6月・8月にシャープの大口出稿があったこともあり増収となった。

「SPメディア」は、第1四半期が好調で、ゲートウェイメディア(アサヒ飲料、サントリー、マイクロソフト)、山手線ネットワーク統合セールスプロモーション(伊藤園)等を展開し増収となった。イベントでは、自動車展示(アルファ Romeo)、バルーン(キリンビバレッジ)等があった。「サインボード」は、計画開発媒体として田町・大森・秋葉原・国立・小田原・北千



ラッピング店舗(伊藤園)



車体広告(YKK)

住・高田馬場・宇都宮に加え、つくばエクスプレス等を積極的に販売したが、ダイナミックライト・大型サインボード(プロミスボード)等の媒体返還により減収となった。一方で「フリーペーパーラック」は大幅に伸長し、「ラッピング店舗」も東京(2店舗)・品川(1店舗)が新たに開発された。

## 山手線車内映像メディア「トレインチャンネル」がバージョンアップ!

「トレインチャンネル」は、人気媒体として満稿状態が続いているが、10月からシステム改修が実施され、CM更新頻度が飛躍的に向上する等、よりクライアントニーズに対応する映像媒体となった。

山手線車内映像メディア「トレインチャンネル」は高速大容量伝送システムの改修が完了し、10月3日(月)よりコンテンツを質、量ともに重視した内容へと改編された。これまでの文字放送によるニュース、天気予報はカラー写真付の静止画構成番組に変更され、新たにスポーツニュース、占い等が放映されている。半月に一度だったCMなどの更新が飛躍的に改良され、キャンペーンやイベント告知にフレキシブルな対応が可能となり、ますます魅力的な媒体となる。

- つている。改修の概要は、
- 1 広告枠の秒数等が変更
  - 2 「コンテンツ・コンボ情報番組提供型」が登場
  - 3 販売単位が1ヶ月単位から週単位(月曜↓日曜)を基本とした枠切りに変更
  - 4 フレキシブルな放映が可能「スパー」枠が新登場
  - 5 素材入れ納期が大幅に短縮
  - 6 デジタル・ベータカムテープでの納品も可能

## JR上野駅「WONDA CLOCK」誕生!!

上野駅広小路口にアサヒ飲料「ワンダモーニングショット」の缶を配置した大型の時計が設置された。

今回の企画は、広告として「WONDA CLOCK」だけでなく、その下に「ベンダーステーション」を造り、商品告知地点での「売り場の創出」という課題も達成している点に特徴がある。



「WONDA CLOCK」と「ベンダーステーション」

等のさまざまな改修が行われ、クライアントニーズへの対応が図られている。

詳細については、交通媒体システムメディアガイダンスからJ企業両メディア部までお問い合わせください。



## JR東京駅でF1カー展示

東京駅丸の内北口ドームにおいて、ロイヤルバンク オブ スコットランドがF1カー(ウィリアムズBMW)とパネル展示を9月28日(水)から10月4日(火)まで行った。



東京駅丸の内北口ドームで展開されたF1カー(ロイヤルバンク オブ スコットランド) 9月28日(水)~10月4日(火)

## 注目集めるJR大崎駅

JR大崎駅西口地区(明電舎工場跡地)の再開発によって誕生する「Think Park」の告知展開が車体広告等で行われている。2007年秋に完成すると大崎駅の媒体にはますます注目が集まりそうだ。



車体&ADトレイン 10月3日(月)~17日(月) (株)明電舎・(株)世界貿易センタービルディング)

## 品川駅にスクロール付 大型サイン登場

JR品川駅中央改札内に10月1日(土)から大型サインボードが登場した。サイズは縦1.0m×横7.2mで左側は内照式、右側が3面縦スクロールとなっており、TVCFやドア上等でもお馴染みの「ぴちよんくん」が大きさを変えて次々にあらわれる仕組みとなっている。



品川駅中央改札内の「ダイキン工業(株)」サインボード  
右側部分が3面縦スクロールとなっている

## 年末年始の作業規制について

JR東日本東京圏内の平成17年度「広告に関する作業等調整期間」については既報(3月号)の通りであるが、年末年始期間について再掲する。期間中は原則として工程の繰上げ、繰り下げを行うが、やむを得ずCランク作業を実施する場合は、3週間前までに、実施計画書を東京メ

品川駅改札内には10月1日から、エキナカ商業空間「ecute(エキュート)品川」がオープンした。「ecute シリーズ」は大宮に続く第二弾で、品川駅を利用する20歳代から30年代のビジネスマンや働く女性をメインターゲットにしている。



“ecute(エキュート)品川”

品川の歴史と伝統、そして近未来的な現代の品川が演出されるecute品川の出現で、品川駅のサインボードを含めた各種駅メディアへの関心はさらに高まっている。その一方で、このコンセプトに適合した表現クリエイティブへの工夫も求められている。

ディア・サービスに提出し、JR各支社事業部の承認を得る必要がある。(申込締切12月7日(水))

## 年末年始作業等調整期間

12月28日(水)22時～1月4日(水)22時  
※詳細は東京メディア・サービス設備管理部安全指導課(電話03-5339-1124)へ

## つくばエクスプレス安全講習会開催

つくばエクスプレス各駅構内における線路近接作業について、首都圏新都市鉄道株式会社主催の安全講習会が9月27日(火)、30日(金)に開催された。参加対象社は、つくばエクスプレス各駅のサインボードを取り扱う広告会社と近接作業会社22社。

つくばエクスプレス守谷駅会議室で2回にわたり開催された安全講習会には、あわせて約140名が参加した。

参加者は、新規路線で時速130km運転、都心部の殆どは地下トンネル等の説明を受け、触車災害防止のために基本動作の重要性や、「やるべきこと」「やってはならないこと」を再認識していた。



熱心に説明を聞く参加者(守谷駅会議室)

## 会員名簿変更

・所在地変更(9月5日付)

(株)ジェイ・アドクルー

〒150-0022

東京都渋谷区恵比寿南1-1-1

ヒューマックス恵比寿ビル8F

電話 03-5773-6671

FAX 03-5773-5420

・所在地変更(10月1日付)

(株)サン・アイデア

〒110-0016

東京都台東区台東3-35-8

渡辺ビル1F

電話 03-5812-9951

FAX 03-5812-9954

・所在地変更(10月3日付)

(株)竜青社

〒102-0083

東京都千代田区麹町3-5-19

にしかわビル2F

電話 03-5213-9990

FAX 03-5213-9007

・代表者変更(10月5日付)

(株)竜青社

代表取締役 白坂桂一氏

・退会(9月30日付)

(有)アドカード

代表者 中嶋武史氏